

スウェーデン教育セミナー 2018 in 仙台 開催報告 (2)  
～宮城学院女子大学 公開講演会「スウェーデンの女性活躍の現状と課題」～

西 浦 和 樹<sup>1</sup>  
池 田 和 浩<sup>2</sup>  
川 崎 一 彦<sup>3</sup>



日時：2018年3月22日（木）13:30～14:30（13:00受付）  
講師：エリザベート・ニルソン氏（エステルヨーランド県知事）

1953年生まれ。今回のスウェーデン教育セミナーでご登壇いただいたエリザベート・ニルソン氏（エステルヨーランド県知事）は、2005年にスウェーデンの鉄鋼業界の貿易協会（Jernkontoret）会長に任命され、貿易政策、研究と教育、エネルギーと環境問題などに取り組みました。2010年からエステルヨーランド県の知事としての職務に従事。

通訳：川崎一彦氏（東海大学名誉教授）  
司会・進行：西浦和樹（宮城学院女子大学教授）

（原文は日本語訳の後に掲載）

宮城県、そして宮城学院女子大学にお招きを頂きありがとうございます。ここで皆様にお会いし、スウェーデンの男女平等についてお話できることを光栄に思います。

宮城学院女子大学の歴史を垣間見るだけでも日本における男女平等の展開について興味深いイメージを得られました。当初は女性の学校、高校、そして今日ではとくに子どもの発達などについて注目されている研究を展開されている大学への発展です。宮城学院女子大学で行われている研究教育活動に敬意を表します。

私はエステルヨーランド県の知事で、県庁のトップです。スウェーデンの知事は官選で、政府から任命されます。知事は県における国の最高の代表者であり、県は政府の任務を遂行します。県

の最も大切な任務は、国会と政府が決めた政治分野の目標を県の条件に合わせて達成することです。日本もスウェーデンもより平等な社会を目標としている、ということは言うまでもありません。両国とも大きな発展をして来ましたが、解決が容易ではない課題もございます。

スウェーデンは世界でも最も平等な国の一つに属し、基本的人権、男女共同参画、の分野ではよく先進国とみなされます。

男女平等の動きがなくては私自身のキャリアも不可能でした。私はエステルヨーランド県で最初の女性知事です。スウェーデンで最初の女性知事が任命されたのはわずか45年前です。今日ではスウェーデンの知事の半数が女性です。

私は工科大学の鉱山学部で学び、鉄鋼業界で25年間働いておりました。私が大学を卒業した1976年以降、世界は大きく変わりました。

私がスウェーデン北部ルレオの鉄鋼工場で最初の管理職になったとき、地方紙はトップ記事で取

1. 宮城学院女子大学教授  
2. 尚絅学院大学准教授  
3. 東海大学名誉教授

り上げる歴史的な出来事でした。今日では鉄鋼鉱山業界も含めて女性管理職は一般的です。取締役会でも男女共同参画が努力されています。

スウェーデンはかなり平等な国ではありますが、まだまだやるべきことは多いです。最近の女性蔑視に反対するMe tooキャンペーンはその明確な証拠です。

男女平等は民主主義、持続可能性、健康の問題でもあり、すべての国において発展にも経済成長にも大きな影響を与えます。

一国の経済にとってできるだけ多くの国民が仕事をすることは重要です。その意味でも保育や高齢者のケアが大切になります。企業は男女に拘らず、職務に一番適当な方を採用しようとしています。また男女が平等な職場はよりクリエイティブになります。

男女平等はどのような課題を含むのでしょうか？

男女平等は民主主義と人権の課題です。性別によって差別されないのは人間の基本的な権利です。

男女平等は社会的持続可能性の課題でもありません。国連の持続可能な開発のための2030アジェンダでは男女共同参画、女性の能力やリーダーシップを活用することが強調されています。開発発展にとって重要な駆動力なのです。女性が労働市場に進出し、経済発展に寄与すると、貧困は減少し、生産性や経済成長が高まります。

### スウェーデンにおける男女共同参画の定義

男女平等は女性と男性が同じ可能性、権利そして義務を持っている状態のことです。人生におけるすべての分野が対象です。男女平等という言葉は、1970年代の初めに性別による差別禁止の法律が議論された時以来使われるようになりました。

1979年にスウェーデンは最初の男女平等の法律を制定しました。

### 女性と男性の比率とその背景の分析

スウェーデンでは男女平等は男女の比率だけではありません。男女の生活条件に影響を与える態

度、規範、価値観の問題でもあります。そのためスウェーデンにおける男女平等の活動は二つの焦点を持って行われています。一つは測定可能な基準で様々な状況を捉えることです。もう一つは得られた数字の背景にある規範や価値観を分析することです。

### スウェーデンの男女平等政策

2006年にスウェーデンは与野党が一致して多くの男女平等に関する目標を設定しました。平等な社会を実現するには男性の参加が前提条件です。スウェーデン政府が男性の参加と責任に焦点を当てている理由です。

スウェーデンの男女平等政策の基本的な目標は、女性と男性が社会と自分の人生を形作るのに同等の力を持つことです。この基本目標にしたの6つの下位目標が繋がっています。

#### 6つの下位目標

1. 権力と影響力の同等な比率
2. 経済的な平等
3. 教育の平等
4. 家事、介護などアンペイドワークの分担
5. 健康の平等
6. 家庭内暴力の全廃

以下では、それぞれについて解説します。

#### 1. 権力と影響力の同等な比率

女性も男性もアクティブな市民として意思決定の条件を形作るための同じ権利と可能性を持つべきです。スウェーデン国会では男女比がほぼ同じで、政治的ポスト、官僚を任命する場合、男女平等は大切な視点です。今日スウェーデンの内閣の大臣もほぼ半数が女性です。

#### 2. 経済的な平等

一生経済的に自立した生活を送るためには仕事が必要です。女性も男性も同じ可能性と条件を持つべきです。女性の生涯所得は男性よりも平均的

に低く、年金にも影響を与えます。労働市場における女性の立場は強くなっていますが、それでもなお男女の賃金格差があります。その理由は、選ぶ職業や仕事場の選択の差、また女性はパートタイムであることが多いことです。就業率は男女ほぼ同じです。

### 3. 教育の平等

女性と男性、女の子と男の子は教育、教育分野の選択、個人の自己発展でも同じ可能性と条件を持つべきです。

平等な教育の目標は就学前学校から大学まですべての段階を含みます。教育分野の選択には依然男女の差があります。女の子、男の子の将来就きたい職業は早い時期に決定されます。それでも変化は見られます。例えば、教師、牧師、医師などは、以前はほぼ男性ばかりでしたが、今日では女性の方が多くなっています。女の子は今でも医療や介護、男の子はITや技術を選ぶことが多いようです。

今日では銀行の管理職や弁護士など高給の職業に就いている女性も多くなっています。

大学では学生数の過半数が女性です。女の子の方が一般的に成績がよく、そのために就職の際に逆の男女の不平等の傾向も見られます。教育大臣は次のように言っています。

“特に女の子は好成績を目指すために精神的負担が高まっています。多くの男の子は学ぶ意欲に欠け、将来展望がありません。”

### 4. 家事、介護などアンペイドワークの分担

女性も男性も家庭における仕事と同じ責任を持つべきです。有給の仕事しながら家事育児、近親者の介護もできることはスウェーデンの男女平等政策の基本です。両親保険という制度があり、子どもが生まれると480日間、社会保険から所得補償をもらって育児休暇を取ることが保障されています。現在の両親保険制度では最低3ヶ月間は父親にしか取得できない“父親月”とされています。

最近男性の育児休暇取得が増えているものの、実際には今でも両親保険の過半の期間を女性が使っています。2016年には男性の取得率は27%でした。

### 5. 健康の平等

女性も男性も、女の子も男の子も健康について同じ前提条件を持ち、同じ条件で医療やケアを受けられるべきです。

スウェーデンの子どもや若者は15歳までは質の高い健康状態を維持しています。しかし、その後人生の前提条件により、健康状態にも違いが出て来ます。女性は平均的に男性より所得も少なく、労働環境も男性よりは悪く、女性の健康にも影響を与えます。社会的な平等を推進することにより、女性の負担が軽減され、男性の家庭における参加が進みます。女性と男性の今日の前提条件と生活形態を考慮し、女性も男性も長く健康な生活を保障する社会を作る必要があります。

### 6. 家庭内暴力の全廃

女性も男性も女の子も男の子も自分の身体を守ることは当然です。

この6番目の目標はわれわれの社会における不平等の最も深刻な課題の一つです。一年前からスウェーデンでは男性の家庭内暴力、売春、性的目的の人身売買に対する国家戦略があります。

#### “名誉”に関連する暴力

“名誉”に関連する暴力に関してエストエルヨーランド県は国から特別な責任を与えられています。“名誉”に関連する暴力は特に中東やソマリアからの難民に見られる問題です。“名誉”の名で家庭や親族の中で、暴力が振るわれます。処女についての特別な規範で女性の行動が家族や男性の名誉を傷つける、という考え方です。

このような文化では女の子に対する自由時間の行動が制限されることが多いです。服装、付き合い、行動範囲などの日常なことから、教育、仕事、結婚、離婚などについてまで監督されます。“名

誉”に関連する暴力は極端な場合、死に至るようなケースもあります。このような犯罪をスウェーデン社会は深刻に捉えています。

### 男女平等庁

今年1月にスウェーデンでは男女平等を担当する新しい役所がスタートしました。今日でも男女平等が依然として重要な課題であることの証左でもあります。県庁は国の右腕として、男女平等政策の地域における施策を担当して行きます。

### 男女平等の分野におけるスウェーデンの成功要因：革新的な法制度

男女平等に関する法律の分野ではスウェーデンは革新的でした。

所得税は重要です。税制は女性の立場に大きな影響を与えます。スウェーデンでは1971年から夫婦が別々に分離課税されています。

分離課税制度はシステムの大きな変更です。かつてはスウェーデンでも男性が外で稼ぐパターンがありましたが、分離課税制度の導入により当時世界でもユニークな“夫婦が共に稼ぐ”モデルに変更されました。福祉の研究者によれば夫だけではなく、夫婦と一緒に稼ぐ大きな変化です。

分離課税制度の導入によって、女性は家庭とは別に個人としての経済的な市民権を得られることになりました。女性は“主婦”ではなく、国に対しても独立した個人と見られるようになったのです。

男女共同参画には独自の所得を持ち、自分の銀行口座を持つことは重要です。

スウェーデンは買春(性的サービスを買うこと)を禁止する法律を世界で最初に制定しました。この法律により買春は犯罪ですが、売春は違法ではありません。この法律の立法過程では性的サービスを買う方に焦点が当てられました。この法律により逮捕されることは大変不名誉なことです。

警察によればこの法律は人身売買を防ぐ効果もあったとのことでした。

1998年に刑法に“女性の権利の重大な侵害”

に関する法律が導入されました。これは処罰対象となる行為が重なって重大な犯罪を誘発する可能性があるともみならずユニークな法律です。

1970年代にはスウェーデンで体罰についての議論が高まりました。成人とは違い、子どもには暴力に対する保護策がなかったのです。そして1979年に体罰防止法が成立しました。この種の法律としては世界で初めてのものです。

スウェーデンの法制度は前述のように革新的で個人を強く保護するものです。しかし、今日の挑戦はこれらの法律をフルに適用することでしょう。

男女平等はもちろん法律だけでは達成できません。政治的な意思による態度の変化も大切です。

企業にとって魅力的な雇用者であることは重要です。そのためには女性が歓迎され、キャリアパスの可能性も男性に劣らない職場だと女性が感じることが大切です。

企業や役所の取締役会、理事会などでも男女平等が重要です。私自身がメンバーになっている取締役会や理事会では男女がほぼ半々です。

今日スウェーデンの若い女性の可能性は男性と同じであることは当然、と考えています。男性の後ろにいることは認めないのです。

### 最後に

男女平等についてスウェーデンの歴史、政治および法律についてかいつまんでお話をさせていただきました。男女の同じ条件、特に女性と子どもの権利が重要です。女性と男性の立場が同じになれば、社会は多くの面でより強くなります。男女共同参画は全ての国民にメリットがあるのです。

日本における男女共同参画の動向を私もフォローさせて頂きたいと思います。優れた知識社会日本では男女共同参画も前進すると確信しております。ご静聴ありがとうございました。

Inside Sweden: Educational Seminar 2018 in Sendai (Original Paper)  
 Open Lecture: Current situation and issues of Female Success in Sweden

Date: 22<sup>nd</sup> March, 2018 13:30~14:30 (Open: 13:00)

Keynote speaker: The Governor, Mrs Elisabeth Nilsson (Östergötland in Sweden)

Interpreter: Kazuhiko Kawasaki (Emeritus professor of Tokai University)

Moderator: Kazuki Nishiura (Professor of Miyagi Gakuin Women's University)

Ett mycket varmt tack för att jag har blivit inbjuden från Miyagi prepektur att besöka Sendai och att tala vid Miyagi Women's University. Det är en ära att få tala här och möta er för att berätta om Sveriges arbete inom jämställdhetsområdet.

Bara genom att se vilken resa ert universitet har gjort får man en intressant bild av utvecklingen inom jämställdhetsområdet i ert land. Från att vara en flickskola, till ett gymnasium och nu ett Universitet för kvinnor med uppmärksam forskning inom barns utveckling. Jag ber att få uttrycka min beundran för den verksamhet som bedrivs vid ert universitet.

Jag har den stora äran att landshövding i Östergötlands län och chef för Länsstyrelsen Östergötland. Jag är underställd Sveriges regering och utsedd av den. Som landshövding är jag statens högsta företrädare i länet och länsstyrelsen är regeringens företrädare i länen. Den viktigaste uppgiften är att se till att de mål som riksdagen och regeringen slagit fast inom en rad olika politikområden uppnås samtidigt som hänsyn tas till länets förutsättningar. Östergötland är Sveriges 4.e största län. Ett av våra arbetsområden är jämställdhet.

Jag är övertygad om att vi, Japan och Sverige, har båda utmaningar för att nå ett mer jämställt samhälle. Vi har i båda länderna sett en stor utveckling, men vi brottas alla med frågor, som ibland kan vara svåra att tackla.

Sverige tillhör världens mest jämställda länder och ses ofta som ett föregångsland inom jämställdhetsarbetet och inom frågor som rör alla människors lika

värde.

Utan jämställdhetsarbetet skulle inte min egen resa varit möjlig för 50 år sedan, jag är första kvinnan kvinnliga landshövdingen i Östergötland. Och det är bara 45 år sen Sveriges första kvinnliga landshövding tillsattes. Idag är hälften av alla landshövdingar kvinnor.

Jag själv utbildade mig vid ett tekniskt universitet till bergsingenjör och har arbetat i stålindustrin i 25 år.

Världen har förändrats mycket sen 1976, då jag tog min examen.

När jag fick mitt första chefsjobb i stålverket i Luleå, blev det en historisk händelse och jag hamnade på förstasidorna i lokalpressen. Idag är kvinnliga chefer mycket vanligt, också i stål- och gruvbranschen. I styrelser strävar man efter att öka kvinnlig representation.

Trots att Sverige är ett mycket jämställt land finns det fortfarande mycket arbete kvar att göra. Metookampanjen illustrerar detta tydligt.

Jämställdhet är en demokrati-, hållbarhets- och hälsofråga och det påverkar starkt hur utvecklingen och ekonomisk tillväxt i alla länder. Kvinnor är ju 50% av befolkningen och våra möjligheter påverkar självfallet länders utveckling.

Jag är medveten om att detta diskuteras mycket i Japan.

För ett lands ekonomi är det viktigt att så stor andel av befolkningen som möjligt arbetar. Därför spelar det en stor roll hur barnomsorg och äldreomsorg är organiserat. Företag vill kunna anställa de mest pas-

sande för jobbet, oavsett om det är en kvinna eller en man. Vi ser också att jämställda arbetsplatser ofta blir mer kreativa, när olika perspektiv beaktas.

### Vad handlar jämställdhet om?

#### Jämställdhet – en fråga om demokrati och mänskliga rättigheter

Det är en mänsklig rättighet att inte bli diskriminerad på grund av kön.

#### Jämställdhet – en fråga om social hållbarhet

FN:s Agenda 2030 för hållbar utveckling betonar särskilt jämställdhet och vikten av att ta tillvara kvinnors förmågor och initiativkraft. Det är en viktig drivkraft för utveckling. Fattigdom minskar och ekonomisk produktivitet och tillväxt ökar, när kvinnor har tillträde till arbetsmarknaden och bidrar till ekonomins utveckling.

#### Definition av jämställdhet i svensk mening

Jämställdhet handlar om ett tillstånd som råder när kvinnor och män har **samma möjligheter, rättigheter och skyldigheter**. Det gäller inom alla områden i livet. Ordet jämställdhet etablerades i samband med att frågan om lagstiftning mot könsdiskriminering fördes in i de politiska diskussionerna i början av 1970-talet.

År 1979 antogs Sveriges första jämställdhetslag.

#### Mer än uppdelning av kvinnor och män

I Sverige handlar jämställdhet inte bara om jämn könsfördelning. Det handlar också om att uppmärksamma attityder, normer, värderingar och ideal som påverkar livsvillkoren för kvinnor och män. Därför bedrivs arbetet för jämställdhet i Sverige med två olika fokus, det ena hjälper oss att skapa en tydlig bild av olika situationer med hjälp av mätbara faktorer. Det andra granskar vilka normer och värderingar som ligger bakom de redovisade siffrorna.

#### Svensk jämställdhetspolitik

I bred politisk enighet antogs 2006 en rad jämställdhets-politiska mål. För att förverkliga ett jämställt

samhälle är mäns delaktighet en förutsättning. Sveriges regering avser därför sätta fokus på mäns delaktighet och ansvar.

Det övergripande målet för svensk jämställdhetspolitik är att **kvinnor och män ska ha samma makt att forma samhället och sina egna liv**. Till det övergripande målet är sex delmål knutna:

1. En jämn fördelning av makt och inflytande
2. Ekonomisk jämställdhet
3. Jämställd utbildning
4. Jämn fördelning av det obetalda hem- och omsorgsarbetet
5. Jämställd hälsa
6. Mäns våld mot kvinnor ska upphöra

#### 1. En jämn fördelning av makt och inflytande

Kvinnor och män ska ha samma rätt och möjlighet att vara aktiva medborgare och att forma villkoren för beslutsfattande.

I Sverige har vi idag en jämställd riksdag och vid tillsättning av politiska poster och tjänstemän är jämställdhet en viktig fråga.

Idag är ca 50 % av ministrarna regeringen kvinnor.

#### 2. Ekonomisk jämställdhet

Kvinnor och män ska ha samma möjligheter och villkor i fråga om betalt arbete som ger ekonomisk självständighet livet ut. Men kvinnors livsinkomster är i genomsnitt lägre än mäns, vilket påverkar deras pensioner. Trots att kvinnors ställning på arbetsmarknaden är stark, finns det fortfarande löneskillnader mellan könen. Det beror främst på faktorer som val av yrke och arbetsplats och kvinnor arbetar oftare deltid. Sysselsättningsgraden är i princip lika hög för kvinnor som för män.

#### 3. Jämställd utbildning

Kvinnor och män, flickor och pojkar, ska ha samma möjligheter och villkor när det gäller utbildning,

studieval och personlig utveckling.

Målet jämställd utbildning omfattar hela utbildningssystemet från förskola till universitet och högskola. Könsbundna utbildningsval är ännu alltför vanliga. Vilka framtida yrken flickor och pojkar ser som möjliga, formas ofta tidigt. I Sverige ser vi idag förskjutningar inom vissa yrken. Exempel på yrken som förr var helt mansdominerade är nu en majoritet är kvinnor, t ex lärare, präster och läkare. Flickor utbildar sig oftare inom vård/omsorg och pojkar väljer i högre grad IT/teknik.

Men idag ser vi också många kvinnliga bankdirektörer och advokater, vilka är höglöneyrken.

På universiteten är majoriteten kvinnor. Flickor får högre betyg än pojkar och vi ser en tendens av omvänd ojämställdhet där pojkar får svårare att konkurrera om jobb på grund av det.

Utbildningsministern säger;

“Många, oftast tjejer, begränsas i dag av prestationsskrav som skapar växande psykisk ohälsa. Många, oftast killar, saknar studiemotivation och tillit till framtiden”.

#### **4. Jämn fördelning av det obetalda hem- och omsorgsarbetet**

Kvinnor och män ska ta samma ansvar för hemarbetet och ha möjligheter att ge och få omsorg på lika villkor.

Möjligheten att förena betalt arbete med ett aktivt föräldraskap och att kunna vårda relationer med närstående, är en central del i svensk jämställdhetspolitik. Föräldrar har en försäkring som medger att en förälder kan vara med sitt barn i 480 dagar med ersättning från staten. Nuvarande försäkring är uppdelad så att 90 dagar är öronmärkta per förälder och resterande 300 dagar kan föräldrarna fördela som de själva vill.

Kvinnor tar ut den större delen av försäkringen. Skillnaderna mellan kvinnor och män har minskat de senaste åren i Sverige idag tar män ut 27% av föräl-

draledigheten (2016).

#### **5. Jämställd hälsa**

Kvinnor och män, flickor och pojkar, ska ha samma förutsättning för en god hälsa och erbjudas vård och omsorg på lika villkor.

Svenska barn och ungdomar har en mycket god likvärdig hälsa fram till 15-års åldern. Flickor och pojkars, kvinnor och mäns olika förutsättningar vidare i livet leder däremot till skillnader i hälsa. Kvinnors sämre löneutveckling, anställningsvillkor och dubbelarbete, liksom mäns större riskbeteende leder till ökad ohälsa för kvinnor och till kortare medellivslängd för män.

Med ett aktivt jämställdhetsarbete minskas sociala skillnader, kvinnor avlastas samtidigt som män vinner på ökad delaktighet i hemmet. Genom att beakta kvinnors och mäns olika förutsättningar och levnadsvillkor i dag ökar förutsättningarna för att bygga ett samhälle som ger alla – kvinnor som män – möjlighet till ett långt och hälsofrämjande liv.

#### **6. Mäns våld mot kvinnor ska upphöra**

Kvinnor och män, flickor och pojkar, ska ha samma rätt och möjlighet till kroppslig integritet.

6.och sista jämställdhetspolitiska delmålet är ett av de allvarligaste uttrycken för ojämställdhet i vårt samhälle. Sen ett år tillbaka har Sverige en nationell strategi som omfattar mäns våld mot kvinnor, inklusive hedersrelaterat våld samt prostitution och människohandel för sexuella ändamål.

#### **Hedersrelaterat våld och förtryck**

Inom det sjätte jämställdhetspolitiska delmålet har Länsstyrelsen Östergötland ett särskilt nationellt uppdrag. Det rör Hedersrelaterat våld och förtryck, något som förekommer främst i grupper som kommit som flyktingar från Mellanöstern och främst Somalia. Vid hedersrelaterat våld och förtryck/våld i hederns namn finns alltid flera förövare. Det kan

vara både män och kvinnor som utövar våld och det speciella är att den utövas av medlemmar ur den egna släkten och familjen. Förenklat beskrivet handlar det om oskuldsnorm och att familjens heder kopplas till hur kvinnan agerar, det är mannens/familjens heder som står på spel om kvinnan får dåligt rykte. Kraven på flickor och tjejer kan skifta men det är vanligt att deras fritid är starkt begränsad. Kontrollen kan sträcka sig från vardagliga former av begränsningar i flickors och kvinnors liv som berör exempelvis klädval, socialt umgänge och rörelsefrihet till livsval som utbildning, jobb och giftermål och skilsmässa. I sin mest extrema form resulterar hederstänkandet i hot om våld och våld, inklusive dödligt våld. Samhället ser mycket allvarligt på dessa brott.

### Jämställdhetsmyndighet

I januari 2018, i år, startades en jämställdhetsmyndighet i Sverige. Att tillsätta en ny myndighet signalerar att jämlikhet mellan könen fortfarande är en viktig fråga i Sverige. Länsstyrelserna är regeringens förlängda arm och samarbetar med myndigheten genom att bidra med det regionala perspektivet i jämställdhetsarbetet.

### Sveriges framgångar inom jämställdhet

#### Progressiv lagstiftning

Sverige har i flera sammanhang varit progressiv i sin lagstiftning inom jämställdhetsområdet.

En viktig fråga är inkomstskatter. Historiskt finns det många exempel på att skattesystemet påverkar kvinnors ställning. Det mest kända exemplet är övergången från sambeskattnings av makar till särbeskattnings, 1971.

Särbeskattningsreformen innebar ett systemskifte. Den svenska välfärdsstaten, som ursprungligen byggde på idén om mannen som familjeförsörjare, förvandlades till en **internationellt unik "tvåförsörjarmodell"**. Välfärdsforskare talar om övergången

från mannen som familjeförsörjare till att det normala är att både mannen och kvinnan är det.

Särbeskattningsreformen gav kvinnor ett individuellt ekonomiskt medborgarskap skilt från hushåll och familj. Kvinnor definierades inte längre som hustrur utan som självständiga aktörer i relation till staten.

Att ha egen inkomst, ett eget bankkonto är kanske de viktigaste byggklossarna för jämställdhet.

Som första land i världen antog Sverige en lag som förbjuder köp av sexuella tjänster. Den innebär att det är straffbart att köpa sexuella tjänster men inte att sälja dem. Prostitution är med andra ord inte förbjudet i Sverige. När den svenska sexköpslagen kom, vad det med ett tydligt fokus på efterfrågan. Och det är mycket skamligt att åka fast.

Polisen hävdar att lagen fungerat som en barriär mot människohandel och att ta krafttag mot köparna varit en framgång i arbetet mot trafficking

Lagstiftning om **grov kvinnofridskränkning** infördes i brottsbalken 1998. Det är en unik lag eftersom flera enskilda, i sig straffbara, handlingar kan läggas samman och tillsammans kan utgöra ett grovt brott.

Under 1970-talet började barnaga att debatteras på allvar i Sverige. Barn hade till skillnad från vuxna inget skydd mot att bli misshandlade. 1979 skrevs **lagen mot barnaga** in i föräldrabalken, den första lagen av sitt slag.

Lagstiftningen är som sagt progressiv i Sverige och har ett starkt skydd för individer men utmaningen för oss är fortfarande att få full tillämpning av lagarna!

Men jämställdhet kommer inte bara av lagar. Det kommer också pga. förändrade attityder, vilka naturligtvis har påverkats av starkt politiskt tryck.

För företagen är det idag mycket viktigt att vara en attraktiv arbetsgivare. För det krävs att kvinnor känner sig välkomna och att de ser att deras karriärmöjligheter är lika med männens.



I styrelser för bolag och myndigheter strävar man efter jämställdhet, och i de styrelser jag är medlem i, är det lika fördelning mellan män och kvinnor.

Unga kvinnor tar idag för givet att deras möjligheter ska vara lika med männens. De accepterar inte att sitta på andra raden. Detta driver jämställdhetsarbetet framåt.

### **Avrundning**

Med dessa nedslag i svensk historia, politik och lagstiftning hoppas jag ha bidragit med en insyn i Sveriges arbete för allas lika villkor och främst kvinnors frigörelse och barns rättigheter.

Ett samhälle blir starkare ur flera perspektiv när kvinnors och mäns ställning är lika. Därför är jämställdhet en fråga som gynnar alla parter.

Jag ser fram emot att följa utvecklingen av jämställdhetsarbetet i Japan och jag är övertygad om att ni, med det kunnande ni har, kommer att bidra i det arbetet.